



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2013年 12月 2日発行

12月号 向日市寺戸町辰巳4-1-101号  
No. 34 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

## 秘密隠蔽はダメ！ 情報公開の社会を！

### 向日市議会 12月議会が始まる (3面)



杉谷伸夫・59才になりました  
向日市議会議員・市民クラブ  
上植野町イトピア在住

### 秘密保護法案は絶対反対！

「特定秘密保護法案」が、多くの市民がよくわからないうちに、あれよあれよという間に今国会で強行制定されようとしています。国会審議をすればするほど、秘密の範囲はあいまいで、処罰や監視の対象も一般市民にまで及ぶことがわかり、報道機関や学者・研究者のみならず、様々な人々から「制定するべきでない！」との声が噴出しはじめました。そもそもこの法案は、先の選挙で自民党の選挙公約に入っていません。この法案の内容や問題点が、大多数の市民にまだ十分伝わっていません。

「情報統制法」「市民監視法」「戦前を彷彿とさせる稀代の悪法」との最高度の批判が集中する法律を、市民の関心が高まらないうちに強行成立させることは、私達の社会の将来に大きな禍根を残すものであり、絶対反対です。万一この国会で制定されたとしても批判し続け、市民の知る権利を主張し続けてゆきます。(12月1日・杉谷伸夫)

最高度の批判が集中する法律を、市民の関心が高まらないうちに強行成立させることは、私達の社会の将来に大きな禍根を残すものであり、絶対反対です。万一この国会で制定されたとしても批判し続け、市民の知る権利を主張し続けてゆきます。(12月1日・杉谷伸夫)

### 市民の皆さんの声

### 議会傍聴・その他のご案内

#### ●秘密保護法案は廃案に！ 一人一人が行動しましょう

マルチン・ニーメラー牧師さんの告白を思い出しました。今、行動しなければ！

「ナチスが共産主義者を攻撃したとき、自分はすこし不安であったが、とにかく自分は共産主義者でなかった。だからなにも行動に出なかった。次にナチスは社会主義者を攻撃した。自分はさらに不安を感じたが、社会主義者でなかったから何も行動に出なかった。それからナチスは学校、新聞、ユダヤ人等をどんどん攻撃し、自分はそのたびにいつも不安を感じましたが、それでもなお行

- ★12月9日(月) 杉谷議員の一般質問  
午前10時からの見込み(1時間)  
現時点での見込みですので、事前にご確認下さい。
- ★12月14日(土) 市民参加でまちを創る会  
■午前10時～12時  
■杉谷ひろば(向陽幼稚園より東向日駅方面へ約100メートル、道路向かい側)

動に出ることはなかった。それからナチスは教会を攻撃した。自分は牧師であった。だから立って行動に出たが、そのときはすでにおそかった。」

すでに遅かったと後悔しないために、一人一人が行動しましょう！(石田)

#### 連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



## 向日市まつり

# 「本当のフクシマ」 写真展を開催

11月16-17日に向日町競輪場で開かれた向日市まつりで「本当のフクシマ写真展」をしたので、私も手伝いに行きました。福島から京都市内に避難している方も手伝いに来てくれました。

子どもコーナーでは、今年も多くの子どもたちに、原発の無い社会を願って、動物や虫、魚の塗り絵をして、自然の野山の背景画に貼ってもらいました。楽しいひとときでした。

福島原発事故は、まだまだ収束には程遠く、事



故の真相究明も、被害者への補償も何も終わっていません。放射能により子どもたちの甲状腺がんが早くもたくさん発見されています。私たちは、福島原発事故を過去のことにせず、二度と繰り返さないために、自分たちの問題として考え続けていかなければならないと思います。(N)

## 秘密保護法案反対

# 国会前緊急行動に参加 国会議員に要請してきました

稀代の悪法=秘密保護法案を成立させてはならない!との思いから、11月29日に市民団体で取組まれた国会前緊急行動に参加してきました。

参議院議員会館前に様々な団体が集まって、参加者がそれぞれに発言。午前10時から、手分けして全参議院議員に要請に行きました。残念ながら、どの議員室も議員本人は出払っていて、秘書の対応でした。「市民の声は届いていますか?」の問いかけに、秘書の方は、「連日FAXが来てます。ほら今も鳴ってるでしょ」。聞くところによると、みんなの党の議員室には、1日で10センチも積み重なるくらい、FAXが届いているそうです。

当日は、反原発テント明け渡し訴訟や、定例の金曜日官邸前行動など、反原発の行動も様々な国会周辺で行われており、私もできる限り参加しましたが、どこも「秘密保護法案反対!」一色。「原発と秘密は一体」、「反原発の闘いは秘密・情報

隠しとの闘い」との声が口々に出されていました。

国会審議でも、秘密保護法案のめちやくちやな内容が次々と暴露されています。稀代の悪法を何としても止めなければ、と思います。

## 放射能健康診断を求める署名を提出

この間、福島原発事故による「放射能健康診断を求める署名」を、皆さんにご協力をお願いしていましたが、向日市内で集めた第2次署名175筆を代表団に託して、復興庁と環境省に提出してきました(全体署名数は今回1万少しのこと)。この署名は、今後本格的に全国で集められるようですので、さらに多くの皆様にご協力を呼びかけたいと思います。よろしくお願ひします。

(杉谷 伸夫)

私



秘密保護法案は廃案に!(国会向いの参議院議員会館前で)

# 12月議会始まる

向日市議会12月定例会は11月27日～12月19日までです。本議会には、「まちを美しくする条例案」の他、市税条例改正案など4つの条例改正案、一般会計補正予算案などが提案されました（日程・議案全文は市議会HPに掲載）。

## ■「まちを美しくする条例案」に疑問

同名の条例案が3年前に提案されましたが、否決されました。昨年市民から出された「全会一致で、ぜひ条例制定を！」との請願が採択されたことを受けて今回、内容修正して提案されたものです。ところが・・・。

前回否決された理由は、①ビラなどの配布者に

回収義務を課していることが表現の自由の規制につながる恐れ、②違反者への罰則はなじまない、という点でした。今回提案の条例案は、罰則は削除しましたが、ビラなどの宣伝物の配布者等への回収義務はそのままです。前回、多くの議員が「表現の自由に対する規制につながる」懸念を表明し、この条項の削除を求め、その結果否決されたのに、なぜ残したのか。まちづくりの基本理念を定める条例を、賛否まっぴらつに意見が割れる内容で提案したことに、大きな疑問があります。

## ■市民から4つの請願が出されました

すべて賛成したいと思っています。

- 向日市の保育の充実を求める請願
- 私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願
- 向日市立第三保育所跡地に「女性センター」建設を願う請願
- 市民のための議会への改革を求める請願

## 杉谷伸夫の活動報告

# 12月議会での 一般質問（予定）

12/9（月）午前10時からの見込み

議会は市役所にあります。誰でも傍聴できます

## 1. 早く巡回バスや福祉バスの具体化を！

巡回バスや福祉バスなど、市民要求に応えるバス運行の具体的な検討を進めることを求めます。

高齢者や障がい者など交通弱者の公共の足を確保することは、喫緊の課題であり、市長の責務です。向日市のように狭くて人口密度の高い大都市近郊の都市でも、大半の自治体がコミュニティバスや福祉バスを走らせています。

巡回バスの具体的な検討の他、老人福祉センター送迎バスを1台増やして市役所や公共施設などに行くのにも利用したり、障がい者や妊婦、乳幼児連れなど交通弱者全般に対象者を広げるなど、具体的な検討を進める必要があります。

## 2. 原発事故から市民を守る対策を！

先日、滋賀県が若狭の原発事故で琵琶湖が高濃度に汚染されるという予測結果を発表しました。向日市の飲み水も心配です。福島原発事故以降、

府内の各市町村は、原発事故に備えた対策を様々に行っています。原子力防災・避難計画を作ったり、放射能のモニタリングを行ったり、学校給食の食材の放射性物質検査を行ったり。しかし、向日市は何の対策もし

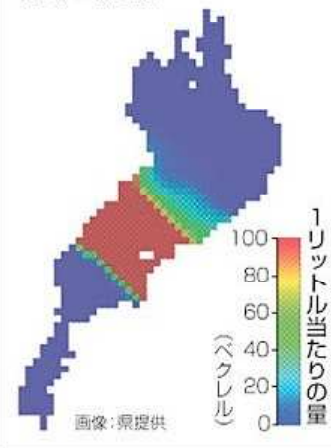
ていません。向日市は現在、地域防災計画の見直しを進めており、その中で原子力事故対策を作る予定になっていますが、その進捗と本当に市民を守れるのかをたどします。

## 3. 生活保護制度改悪の影響と運用について

今年8月に生活保護基準が引き下げられましたが、就学援助など他制度への影響が心配です。また、12月に支給される期末扶助は、制度変更により多人数世帯では昨年比半減するといわれます。制度改悪による、生活困難世帯への影響についてたどします。

生活保護制度の改悪により、必要な人が制度を受けられなくなることの無いよう、利用者・市民の立場に立った、生活保護の相談・支援事業の強化についてたどします。

琵琶湖表層の濃度  
(事故6時間後)



大飯原発事故で滋賀県が最も影響を受ける想定  
のセシウム分布(県試算)



## 天皇について 思いついたまま

山本太郎議員が天皇に手紙を渡したことで、非難ごうごう。もちろん許されないことだろう。でも天皇はにっこりしてしゃべりながら受け取っておられたのが印象深く残っている。

今の天皇は昭和天皇の戦争責任を感じ、鎮魂の旅をしておられると思う。沖縄にも何回も訪問されたし、多くの戦死者を出したサイパンなどの島々にも訪ねておられる。美智子妃と共に。

私は「陛下」という言葉を使わない。主権在民のこの時代、臣民でないので「陛下」という言葉を使わなくていいという講演を聞いた。それ以来私は納得して使わない。言葉の流れで「天皇陛下」というようにみんな言っていると思うが、私は日本人のあいまいさを表しているように思う。(安野洋子)



## スーパーに並ぶ 野菜に思う



鍋が美味しい季節になりました。我が家の食卓にも、数多くのりです。最近スーパーに野菜を買いに行くと、群馬県産、茨城県産が大変多くなりました。震災復興支援はわかるのですが、食材については、私は不安が残ります。それは放射性物質の規制基準があまりに高すぎ、しかも表示されていないからです。

できるなら、地元で採れた野菜を買いたいと思います。でも、農家の前で売られている野菜はちよくちよく買うのですが、近くのスーパーなどでは「向日市産」と表示されているものを見かけたことはありません。どこで売られているのでしょうか。(澗沢)

### シリーズ

## 「議会を変える！」⑩

### 市民が中心の議会に

片山善博・元鳥取県知事の講演より

11月18-19日、「地方議会議員特別セミナー」に参加し、地方財政や地方議員のあり方などについて勉強してきました。「地方自治と議会改革」のテーマでの、元鳥取県知事・元総務大臣の片山善博さんの講演が面白かったので紹介します。

市民には自治体議会に対する不信感がある。何をしているかがわからないのだ。議会も「市民に

開かれた議会」と言い出したが、実態は全くだめだ。何より、いつ何を審議しているか、市民にはまったくわからない。議会に関心の持ちようがない。議会の傍聴に行っても、傍聴席は議員フロアと別で、「拍手してはいけない」とか、新聞を読んでも叱られる。市民は取り締まりの対象なのか。

米国の議会は実に面白い。毎週、市民に議案を知らせて開催するので、その問題に関心のある市民が参加する。議会の最初に、市民が意見を言う。採決にあたっては、議員は一人一人態度表明する。日本の議会は議員中心だが、米国の議会は市民が中心だ。日本の議会も参考にして、市民中心、議題中心の運営にするべきだ。

片山さんの話は、私が普段から思っていることそのものでした。実現をめざして頑張らねばと勇気づけられました。(杉谷 伸夫)

### 視察報告

## 小田原市「学校の2学期制」

議会の総務文教常任委員会で、全小中学校で2学期制を実施している小田原市を視察訪問しました。

2学期制では、10月上旬が前期・後期の区切りとなります。学期末のテストや成績評価の回数を減らす事により、授業時間数を確保することが大きな目的です。話を聞いたところ、小学校教員には概ね好評のようでしたが、中学校では進路指導の関係でかえって煩雑となり、概ね悪評のようでした。一方保護者からは、

3学期制を望む声が多いようです。

2学期制は、10年ほど前より全国各地で導入が進み、一時は2割以上の学校にまで実施が広がりましたが、最近は3学期制へ戻す動きが出てきています。小田原市では検討の結果、2学期制を継続することに決めました。でも、それは2学期制の教育効果・メリットが明らかになったからというよりも、せっかく定着してきた制度をまた変更したくない、というのが本音のように感じられました。

向日市では、2学期制の導入について具体的な検討はされていないと聞きますが、安易に制度を変えることによって教育効果を期待するのではなく、慎重な検討をすべきだと思いました。(杉谷 伸夫)